

外部アドバイザーの経歴

濱本 庄太郎 氏

大阪府立江之子島文化芸術創造センター プラットフォーム部門ディレクター

E-DESIGN 勤務。enoco プラットフォーム部門ディレクターとして「木津川遊歩空間整備」「わがまちカンヴァス事業」等を担当。

また水都大阪パートナーズディレクターとして中之島公園を中心とした水辺の再生プロジェクトを担当。

寺浦 薫 氏

大阪府 府民文化部文化・スポーツ室文化課 文化創造グループ 主任研究員

1994 年に大阪府に入庁し、学芸員の資格を活かし、文化施策の立案、府立現代美術センター企画運営、府立江之子島文化芸術創造センターの立ち上げ等に携わる。

「大阪・アート・カレイドスコープ」、ヨーロッパとの芸術家交流事業「ART-EX」、
「水都大阪 2009」、「おおさかカンヴァス推進事業」「プラットフォーム形成支援事業」等を主担。

【参考】

プラットフォーム形成支援事業とは

大阪府が府立江之子島文化芸術創造センターと協働して実施している事業。

公共空間の利活用、地域の活性化、まちづくりなど、単独の部局だけでは解決が困難な複合的な行政課題に対して、アーティストやデザイナー、府民、専門家など多様な立場の組織や人が“プラットフォーム”を形成し、行政主導ではなく対等な立場で交流・対話を行い、アートやデザイン等をツールとして、解決策を検討し提案すること。そして、社会課題の解決に、アートやデザインを媒介としたアイデアが生かせる環境づくりをめざすことである。

市町村の課題解決支援も重点的に取組み、アートやデザインをツールに、地域住民を含めた関係者と協働連携して合意形成等を進めるなど、解決に向けた動きをサポートしている。